

北海道浮魚ニュース

平成 15(2003)年度 13号 (通巻 No.155)

2002年 8月 29日

北海道立水産試験場

道東沿岸～オホーツク海スルメイカ資源調査結果

釧路水試調査船**北辰丸**により行われたスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間：2003年8月18日～8月28日
- ・調査海域：道東太平洋沿岸域、根室海峡～オホーツク海

- ・道東沿岸：昨年より高いが、全般には低密度
大きさはやや小型
- ・オホーツク海：低密度

道東太平洋沿岸域

1. 水温分布・・・昨年より、表面水温は高く、50m層は低い

表面水温は11.3～16.0 (昨年：10.4～13.9) 深度50m層の水温は2.8～4.0 (昨年：6.4～9.6) でした。表面水温は昨年より2～3 高い点が多くなっていますが、深度50m層の水温は逆に3～7 低くなっています。

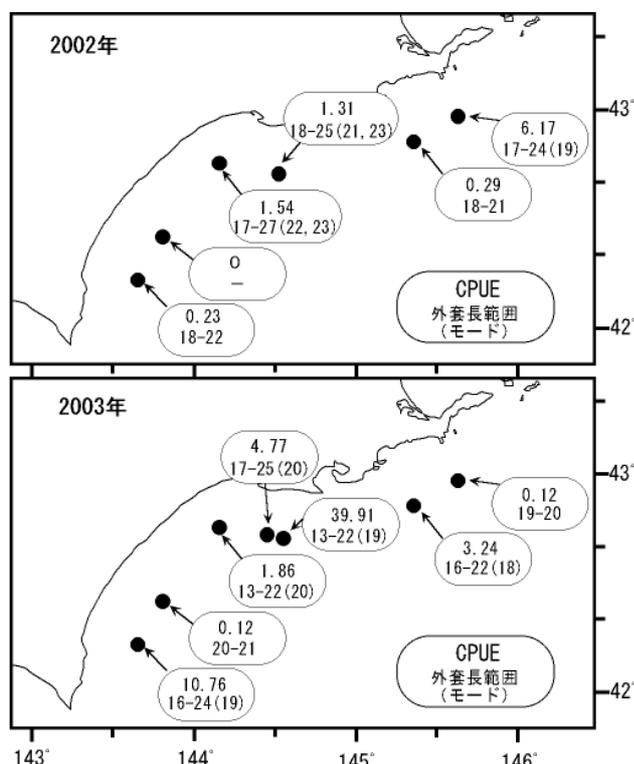
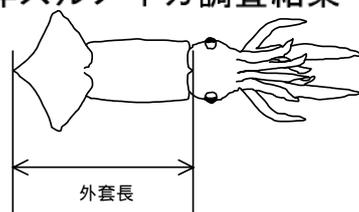


図1 道東太平洋スルメイカ調査結果



2. 分布密度・・・昨年よりも高いが、全般的に低密度

調査を行った7調査点の平均CPUE(2連式イカ釣機1台1時間当たりの漁獲尾数)は、8.68で昨年(1.59)を上回りました。

しかし、高いCPUEを示したのは、昆布森沖の39.91だけで、それ以外の点は0.12～10.76と低くなっていました。

3. スルメイカの大きさ・・・やや小型

調査点全域でのスルメイカの外套長(胴長)は、13～24cmでした(図2)。モード(最も多く漁獲されたイカの大きさ)は19cmで、昨年(19cm)と同じでしたが、20cm以上(の大型個体)の割合が少なくなっています。

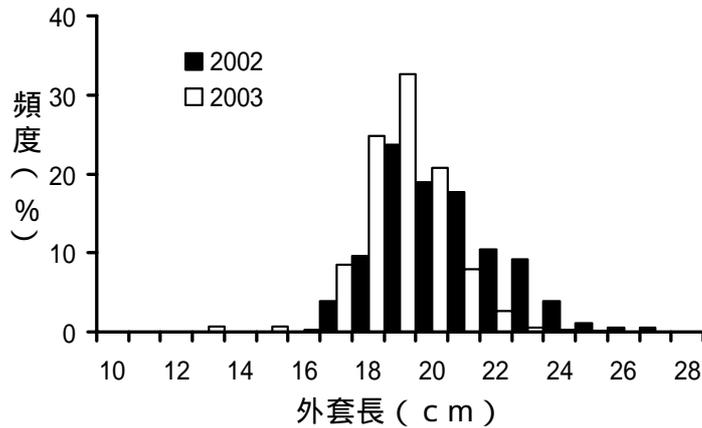
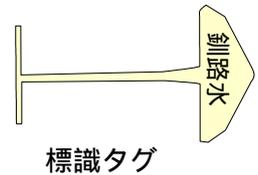


図2 道東太平洋スルメイカ外套長組成図

4. 標識放流

昆布森沖で、標識放流を行いました。標識タグの付いたイカを見つけた方は最寄りの水産試験場までお知らせ下さい。記念品を差し上げております。

放流月日	放流位置	標識タグの色	記号	放流尾数
8月19日	42°42'N 144°31'E	黄色	釧路水	219



根室海峡～オホーツク海

1. 水温分布

根室海峡の表面水温は 15.2～16.1、深度 50m層の水温は 11.4～11.8 でした。オホーツク海の表面水温は 12.6～18.1、深度 50m層の水温は -0.3～14.5 でした。この海域の調査は今年から開始したため、昨年との比較は行えませんでした。

2. 分布密度・・・スルメイカの分布は低密度

調査を行った、9 調査点の平均 CPUE は、0.07 と太平洋沿岸域に比べ、大変低くなっていました。

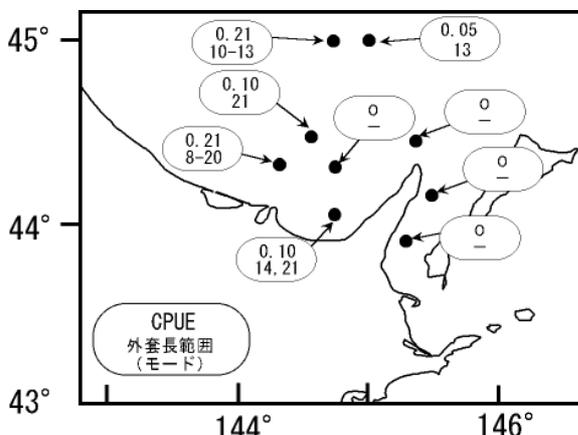


図3 根室海峡～オホーツク海スルメイカ調査結果

3. スルメイカの大きさ

調査点全域でのスルメイカの外套長は、8～21cm でした(図3)。漁獲対象サイズではない、10cm 以下のスルメイカが多く目視されました。

・今回の調査結果を含め、各機関の調査結果を基にして、9月下旬に第2次スルメイカ漁況予報が発表されます。

(文責：釧路水産試験場 資源管理部、TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)